

厳しさを増す 国保の財政

益 城町の国民健康保険特別会計は、保険給付費の増加および保険税収入の減少などにより、平成21年度決算から単年度ベースでの赤字が続いています。

具体的には、単年度収支において、平成21年度決算で約1億5600万円、平成22年度には、約2億3800万円の赤字決算となっています。

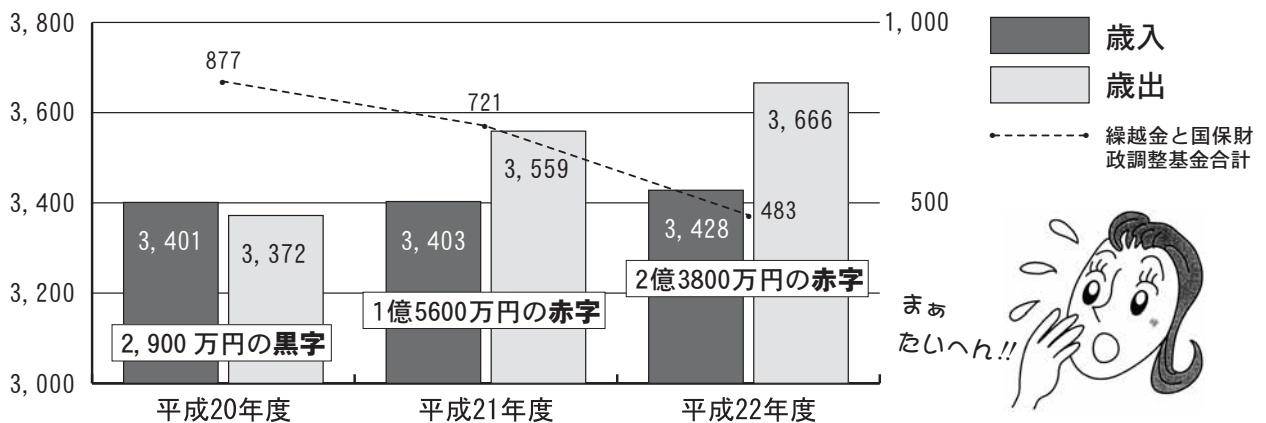
益城町の国民健康保険特別会計には、繰越金と国保財政調整基金（積立金）がありますので、単年度で赤字となっても、現状では支払不能等にはなっていないませんが、その基金についても、平成21年度以降減少しており、

このまま推移した場合、平成20年度において繰越金と基金の残高合計が8億7700万円あったものが、平成24年度末には繰越金と基金の残高がなくなる予想され、単年度の赤字に対応できなくなる恐れが出てきました。

以上の状況を踏まえ、町では、歳入面において、保険税の収納率向上のための滞納対策に取り組んでいることに加え、歳出面においては、人間ドックなどの健診事業実施による病気の早期発見・早期治療を進めていますので、国保加入者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

●単年度収支（年度ごとの国民健康保険特別会計の収支状況）

単位：百万円



●保険給付費と保険税収入額の比較

単位：百万円

